



伏木 曳山祭

令和四年になり「コロナ禍」も三年目を迎える市民の皆様方におかれましては大変ご苦労をなさっていることと存じます。私は先般の高岡市連合自治会総会において会長に選任をされました。誠に光栄の極でございます。高岡市には六百十の自治会があります。皆様方には日頃より本市の自治会活動に格別のご協力を賜り感謝申し上げます。何卒前浦田会長同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて高岡市では財政再建にも一区切りがつき一息という所ではありますが、早急に方向付けを迫られている事案もあります。新庁舎にいたしましても現在地での耐震対策ですとかセリオ移転や別の場所での移転新築などと言われておりますが、いずれにしましても市民の一番望む形となることを願っております。また一時収まるようにみえましたコロナにつきましても最近感染者が急増しておりますのでその対策もお願いしたいと思っております。



会長あいさつ

高岡市連合自治会
会長 角玄 富雄

私共連合自治会や各自治会では若い方や女性の方の参加を願っております。そのため「結ネット」を取り入れ、スマホやパソコン等で行事や市からの案内、出欠等の返信ができるようなシステム作りを進めております。誰もが参加しやすい自治会活動を目指したいと思っております。

コロナ禍のためにイベントやお祭りが二年ほど中止されておりましたが、今年は規模を縮小するなどし、復活を遂げたことは喜ばしいことです。しかしそれ以前より各地区の獅子舞や祭礼等が無くなってあります。それらについても今後考えていかなければなりません。住民同士の絆や子ども達の夢のためにも頑張りましょう。

昨年、角田市長が誕生しました。若く馬力があり、またリーダーシップもある市長の元、我々連合自治会も市民の安全・安心を目指し活動を進めてまいります。皆様方のご協力をお願いしますと共に、ご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

役員・会員の紹介 (令和4年度)

- | | | | | | |
|---------------------|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|
|
会長
角玄 富雄(戸出) |
副会長(総務)
宇波真一郎(定塚) |
副会長
矢竹 有至(福岡) |
副会長
藤田 晴久(西条) |
副会長
増井 俊一(太田) |
理事(会計)
森田 和夫(福田) |
|
理事
橋本 善明(能町) |
理事
大庭 和之(野村) |
理事
小栗 久雄(二塚) |
理事
月安 幸三(木津) |
理事
杉本 孝之(国吉) |
理事
山本 陸男(北般若) |
|
理事
出口 勇(大滝) |
監事
中井 隆行(二上) |
監事
前田 義弘(東五位) |
監事
坂 廣志(伏木) |
相談役
杉江 幸男 |
相談役
浦田 一郎 |
|
会員
和田 徹(平米) |
会員★
北林 和正(下関) |
会員
古國府信二(博勢) |
会員
西田 公信(横田) |
会員
下山 実(川原) |
会員
牧 隆(成美) |
|
会員★
関口 謙(佐野) |
会員
広地 功信(小勢) |
会員★
伏江 努(立野) |
会員
橋 信一(石堤) |
会員
大坂 昭輔(牧野) |
会員
牧野 光男(古府) |
|
会員
上田 義一(堤戸) |
会員
道谷 悦一(中田) |
会員★
永原 博(山王) |
会員
松原 幸伸(西五位) |
会員★
杉本 孝雄(五位山) |
会員
山崎 久栄(赤丸) |

○印は新役員
★印は新会員

編集後記

去る五月二十三日、高岡市連合自治会定期総会が開催されました。今回は二年に一度の役員改選の年であり、角玄新会長のもと、役員・会員一同、コロナ禍においても果敢に地域課題に取り組み決意をあらたにしました。

本稿では地域が抱える課題に対して各地域の特徴に応じたアプローチで解決に挑んでいる地域を複数ご紹介しました。紙面の都合上、全てを掲載できなかったことをご了承ください。地域活動の担い手不足が叫ばれる昨今、持続可能な地域活動の実現に向け、今後も新たな試みが続けていく所存です。

結びに、ご多忙の折、取材等に応じていただきました方々に深く感謝申し上げます。

編集委員 藤田 晴久(記)
橋本 善明
山本 陸男
出口 勇

令和四年度 定期総会の開催

五月二十三日、ホテルニューオータニ高岡において本年度定期総会が開催されました。

総会では、令和三年度事業報告・収支決算報告、役員改選、令和四年度事業計画（案）・収支予算（案）が審議され、原案どおり承認されました。令和三年度の主な活動内容及び令和四年度の事業計画は次のとおりです。

令和三年度に実施した主な事業

- ・定期総会開催 (5月)
- ・市当局との懇談会 (8月)
- ・議会傍聴 (9月)
- ・第1回研修会「時代の変化にともなう自治会運営の課題と解決策」 (9月)
- ・「市連自治会だより」の発行 (10月)
- ・令和四年度高岡市に対する要望書提出 (11月)
- ・令和三年度富山県知事に対する要望書提出(12月)
- ・第2回研修会「実践に学ぶ これからの地域づくりのヒント」 (12月)
- ・議会傍聴 (3月)

令和四年度の主な事業計画

I 高岡市連合自治会は、市勢の発展と住民が安心して暮らすことのできる豊かで明るい地域社会づくりに寄与するため、各地区連合自治会相互の連携の基に、行政及び関係団体との相互協

力・協調を図り、少子高齢の進展に危機感を持ちながら持続可能な地域活動に努めるため、次に掲げる事業を行う。

- II 事業内容
- ① 高岡の魅力を活かしたまちづくりへの提言
 - ② 安全で安心なまちづくりの推進
 - ③ 地域福祉の増進
 - ④ 環境保全・美化運動の促進
 - ⑤ 参加者の拡大と人材育成
 - ⑥ 持続可能な地域活動の確立

荣誉に輝く

- 総務大臣表彰
浦田 一郎 氏(佐野)
- 全国自治会連合会表彰
浦田 一郎 氏(佐野)
角玄 富雄 氏(戸出)
- 市民功労者表彰
和田 徹 氏(平米)
宇波真一郎 氏(定塚)
澤合 文雄 氏(醍醐)
出口 勇 氏(大滝)
- 富山県自治会連合会会長表彰
浦田 一郎 氏(佐野)
米島 義三 氏(下関)
杉本 進 氏(立野)

研修レポート コロナ禍で学ぶ

コロナ禍で活動が制限される今だからこそ将来のために腰を据えて学ぶ時間にしたいと、例年よりも研修に力をいれました。総務省の研究会構成員も務める水津先生を招き「時代の変化にともなう自治会運営の課題と解決策」について学びました。先生の著書2冊を全会員に配り、事前に予習をして研修に臨みました。



全国各地を奔走している高崎経済大学の櫻井教授からは、人口減少時代の地域づくりの実践的な手法を学びました。研修当日、時間の許す限り先生の話が聞きたいと、帰りの新幹線の時刻ぎりぎりまで引き留めるほど会場は熱気に包まれ、最後は拍手喝采の中、研修を終えました。研修で得た知恵や手法を早速取り入れようと動き出した地区もあり、有意義な研修となりました。

推薦図書

市連で全36地区連合自治会長に配付、好評を博した水津先生の書籍。全国数々の成功例や失敗例を目的の当たりしてきた著者による自治会のお悩み解決のヒントが満載です。貸し出しサービスも行っていますので、ご希望の方は連合自治会事務局にご連絡ください。 ☎20-1326



地域課題に挑む 特集① 未来に向けて話しあう地域



高岡市の各地で住民同士が地域の魅力や将来について話し合う取り組みが増えています。近年人口が急増した牧野地区では、「牧野みらい会議」と題して、地域の住民約30人が牧野の未来について語り合いました。参加者アンケートでは「今まで言えなかったこと、思っていたことを話すことができ良い機会でした」「新たな取り組みという感じがしてよかった」「沢山の意見が出て、皆さん牧野地区に熱い思いを持ってもらえることを発見できました」といった感想がありました。

福田地区では、新しい転入者も増えてきており、新たなつながりの機会を設けたいと地域に住む多世代の女性が集い、福田の魅力について話し合う場が設けられました。「初めて会った方たちとでしたが、意外にうまくまとまった」「年齢

とわずいろんな方に参加してもらったことが良かった」「福田地区は満足度が高い地区で、あらためてこれからも守っていききたい、住み続けたいと感じました」といった感想が寄せられました。

また、成美地区では地域活動の担い手不足が深刻化する中、地域の自治会長が集まり、地域の将来についてグループに分かれて意見を出し合いました。各班ともホワイトボードを埋め尽くすほど多くの意見が出て、今後も参加対象者を広げて開催する予定です。

同じ地域に住んでも地域のことについてじっくり話す機会は意外とありません。ご興味のある方は事務局へお問い合わせください。

地域課題に挑む 特集②

デジタル技術で 新しいつながりへの挑戦

高岡市の自治会では今、地区の自治会長や各種団体の体長がつながり、情報共有を行う新しい手段としてスマートフォン向け電子回覧板アプリ「結ネット」の導入が進んでいる。(14地区で運用または準備中 ※8月1日現在)

いち早く導入を決定した定塚地区の宇波会長は導入目的について「自然災害の増加や高齢化の進行など、近所同士が助け合う重要性が高まっており、世代や属性をこえた地区内の様々な人が情報をタイムリーに共有し、同じ認識を持つ必要性を感じていた。結ネットの導入によって、『市民と市政』を含む市からの情報、市連自治会の情報、校下連合自治会・各種団体の情報、町内の情報、校下小学校・中学校だより、公民館等の情報を地域内で個別に活動していた各団体の体長・自治会長で共有することが可

能になった。」と語る。「そして今は、各世帯住民への結ネット登録を進めることで、ネット回覧と紙での回覧を併用した班長の負担を軽減する回覧の仕組みづくりに挑戦しております。また、年内に結ネットの安否確認を使った避難訓練を校下で実施すべく、準備会議を始めております」と意気込む。

福岡地区で精力的に導入を進める矢竹会長は結ネット導入効果について「地域内の事務連絡のスピードが格段に向上した。以前は自治会長宅へ書類を届けていたが、今は紙で連絡することはほとんどない。導入前は懐疑的だった人も実際に使って便利さを実感することで、協力的になってくれた。スマホアプリのLINE(ライン)も使っているが、資料などの情報を分野ごとに整理して保存できる点で結ネットは優れている」と強調する。

開発元の株式会社シーピーユーの担当者は「結ネットは現在、北海道から九州まで導入地域が増えています。中でも富山県、特に高岡市は全国的にみて高い普及率です。高岡市連合自治会さんには、結ネットによって全国に先駆けた新しい地域運営のモデルを構築していただくことを期待しています。」と語る。

現在、市連自治会では今年度中の各単位自治会の会長までの導入を計画しています。高岡市では地区単位で導入費用の補助も行っています。詳細はお問い合わせください。

結ネットの詳細はこちら